

長崎県がん診療連携拠点病院 県民公開講座「がんについてよく考えよう」

アンケート調査結果(2022年度)

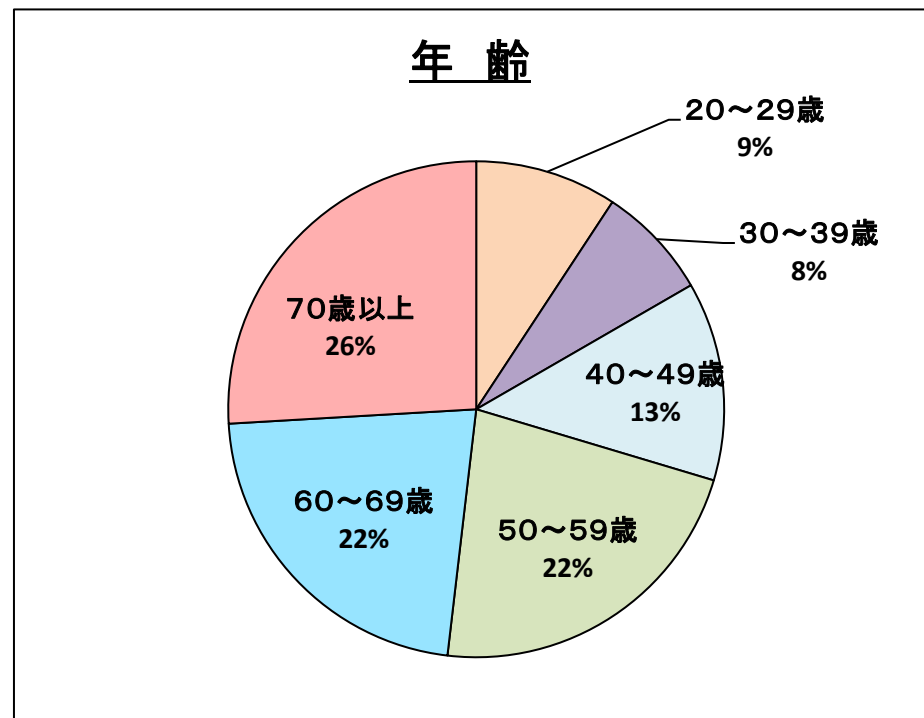
日時：2022年10月15日(土)
時間：13:00～14:40

来場者：76人
アンケート回答者：54人

1、該当する項目に○をお付け下さい。

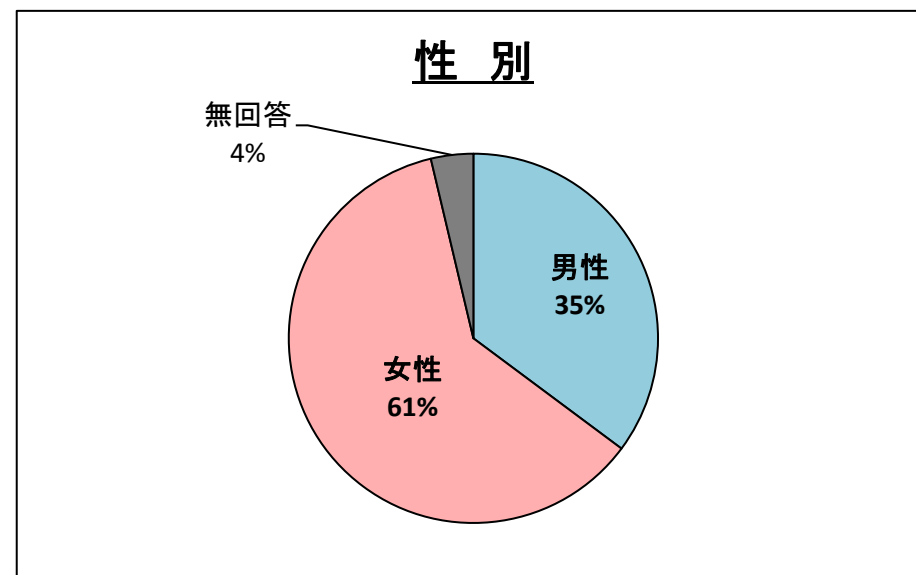
●年齢

～9歳	0
10～19歳	0
20～29歳	5
30～39歳	4
40～49歳	7
50～59歳	12
60～69歳	12
70歳以上	14



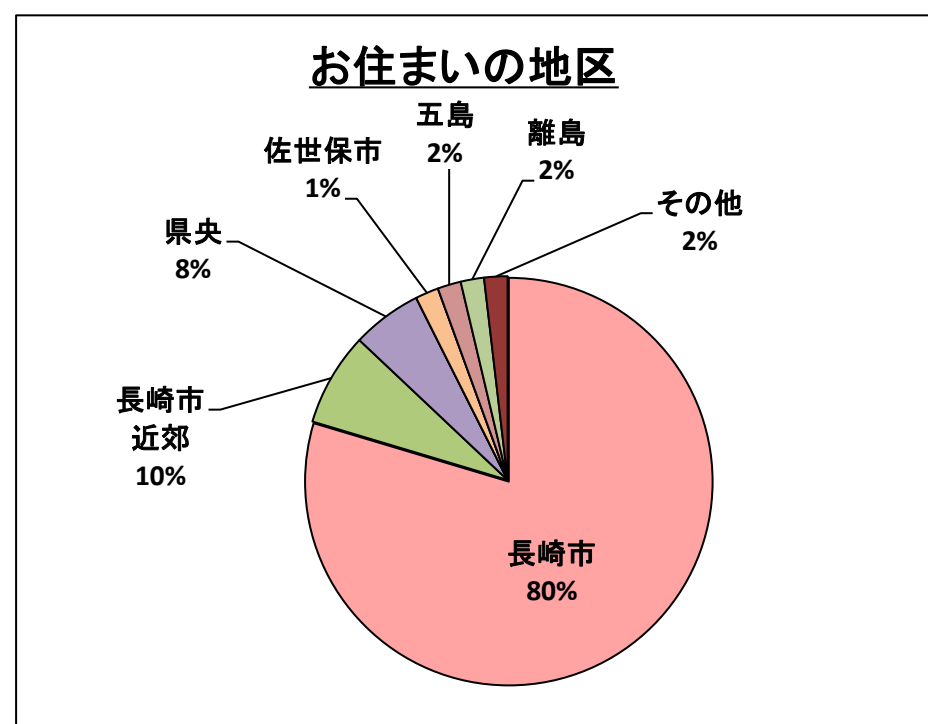
●性別

男性	19
女性	33
無回答	2



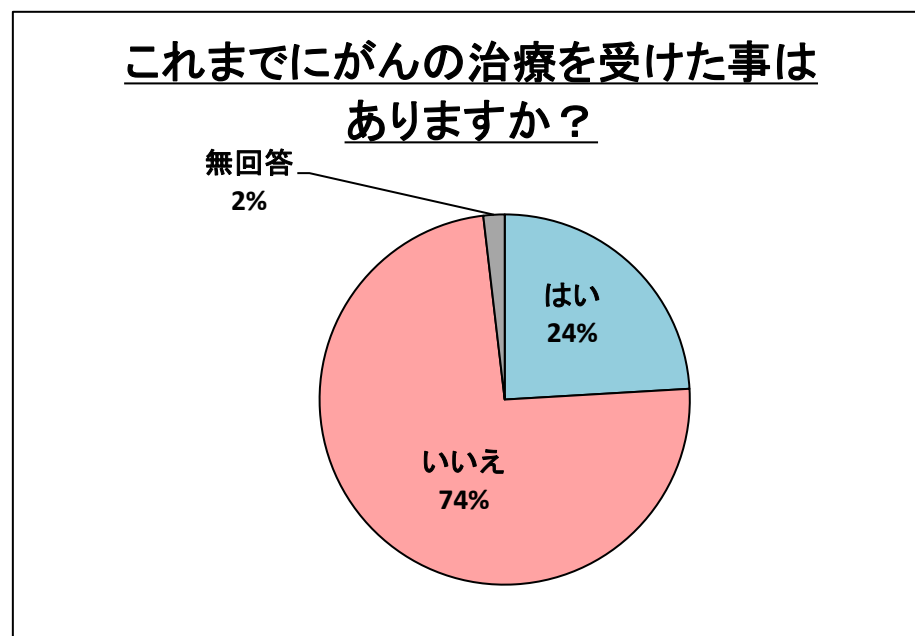
●お住まいの地区

長崎市	43
長崎市近郊	4
県央	3
県南	0
佐世保市	1
県北	0
五島	1
離島	1
その他	1



●これまでにがんの治療を受けられた事がありますか？

はい	13
いいえ	40
無回答	1

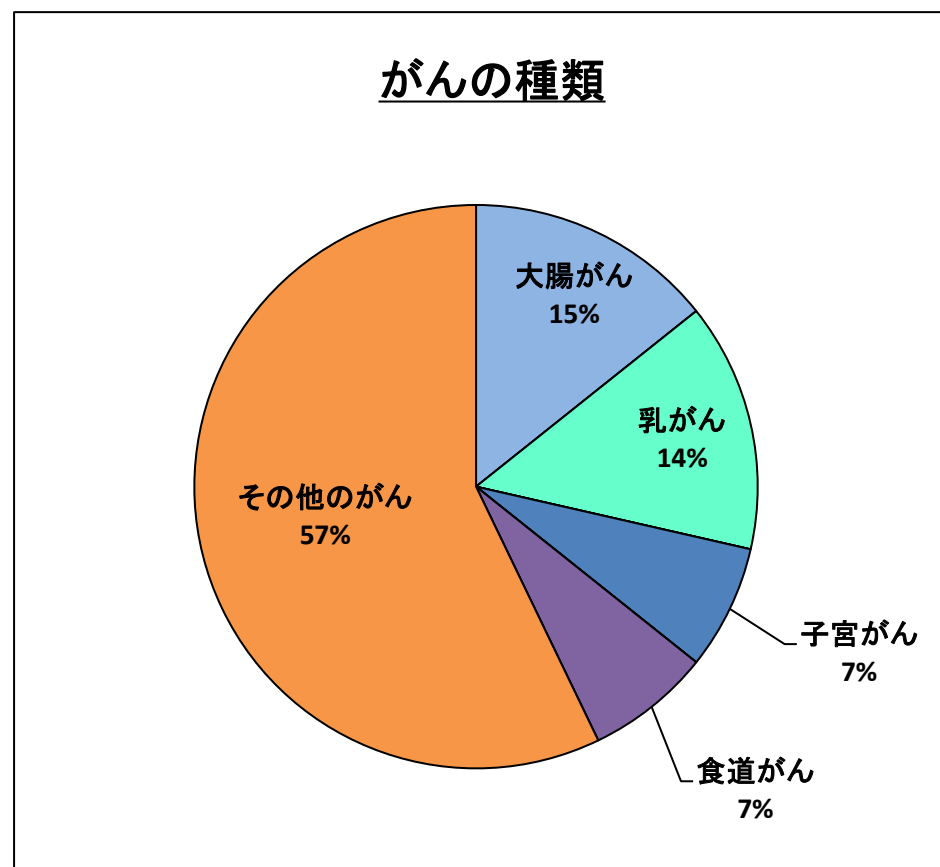


●ハイと答えた方、よろしかったらがんの種類を教えてください。(複数回答可)

胃がん	0
大腸がん	2
肺がん	0
乳がん	2
血液がん	0
肝がん	0
子宮がん	1
膀胱がん	0
腎臓がん	0
食道がん	1
小児がん	0
その他のがん	8

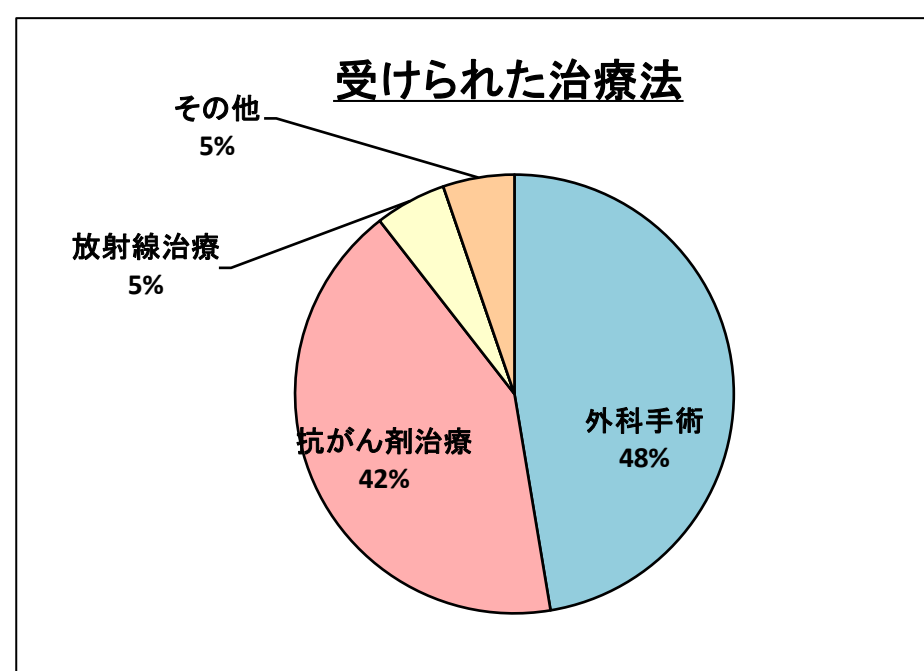
★その他のがん 内訳

皮膚がん、膵臓がん、卵巣がん、前立腺がん、十二指腸がん



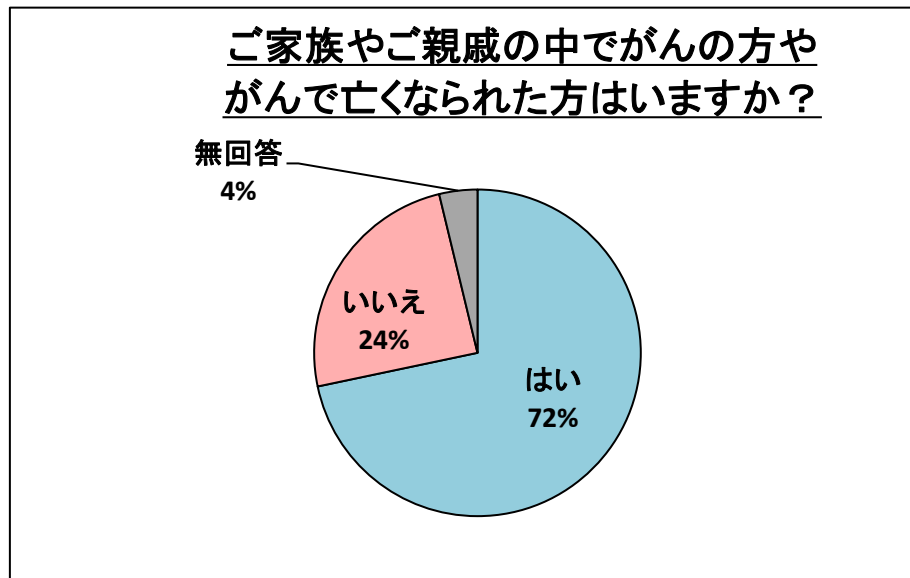
●よろしかったら受けられた治療法を教えてください。

外科手術	9
抗がん剤治療	8
放射線治療	1
緩和ケア	0
その他	1



●ご家族やご親戚(四親等まで)の中でがんの方やがんで亡くられた方はいますか？

はい	38
いいえ	13
無回答	2

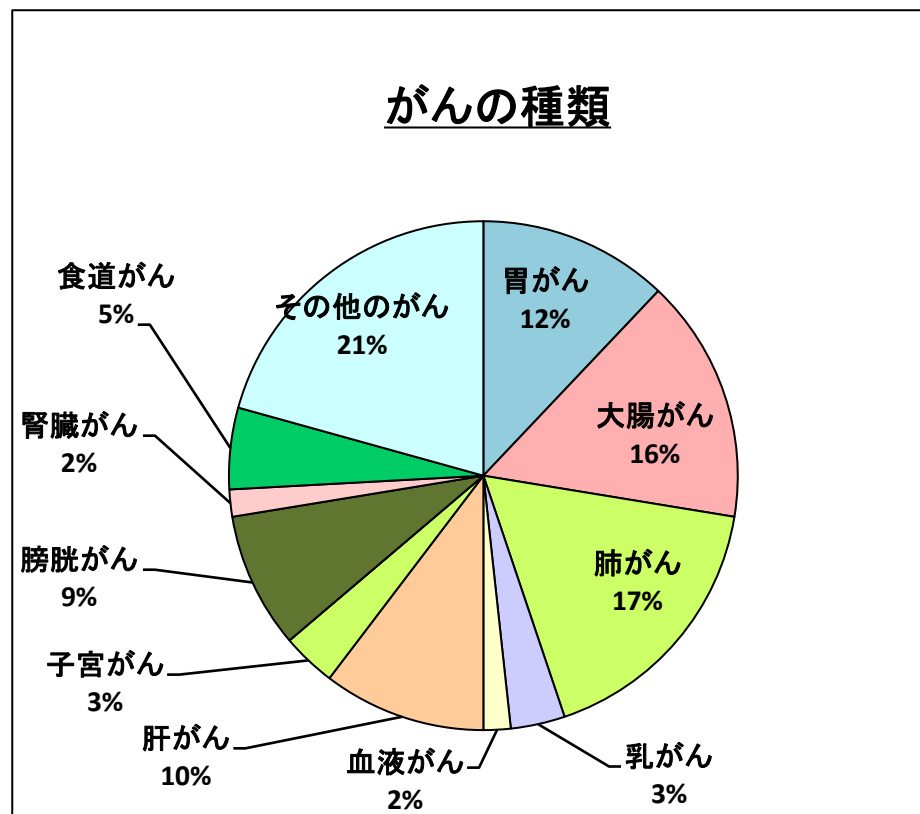


●ハイと答えられた方、よろしかったらその方の病気の種類を教えてください。

胃がん	7
大腸がん	9
肺がん	10
乳がん	2
血液がん	1
肝がん	6
子宮がん	2
小児がん	0
膀胱がん	5
腎臓がん	1
食道がん	3
その他のがん	12

★その他のがん 内訳

副腎がん、胆道がん、膵がん、咽頭がん、多発性骨髄腫

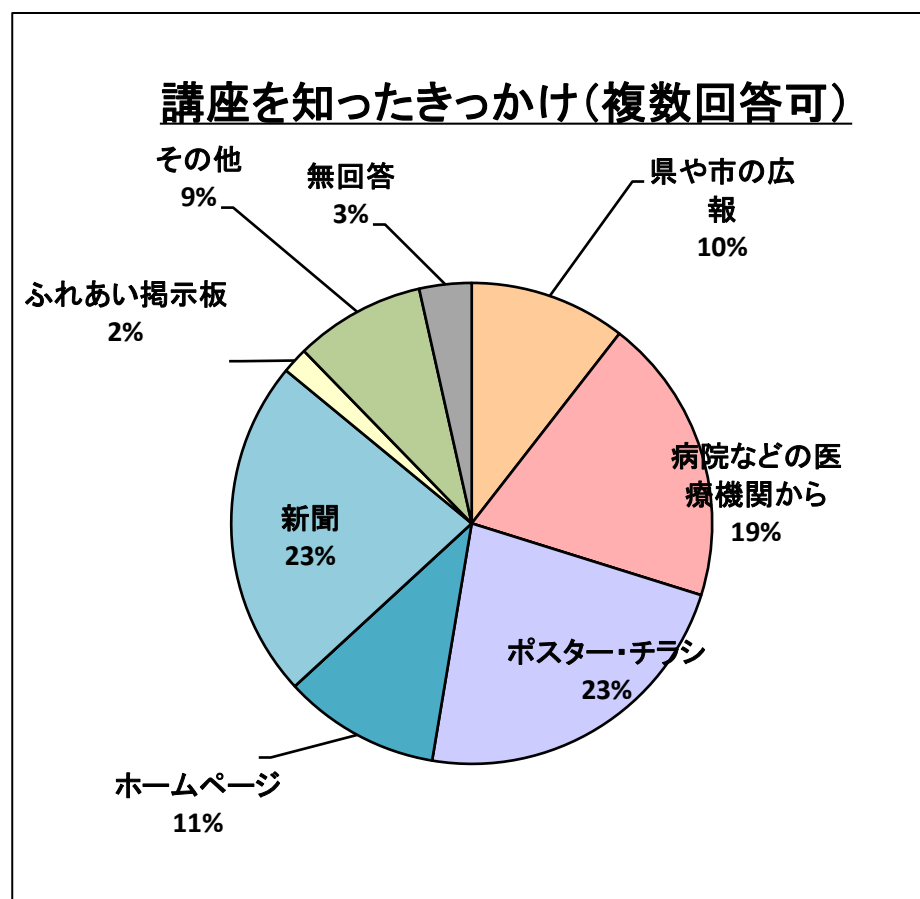


2、本日の県民公開講座は何で知りましたか。(複数回答可)

県や市の広報	6
病院などの医療機関から	11
患者会	0
ポスター・チラシ	13
ホームページ	6
テレビ	0
新聞	13
ふれあい掲示板	1
その他	5
無回答	2

★その他 内訳

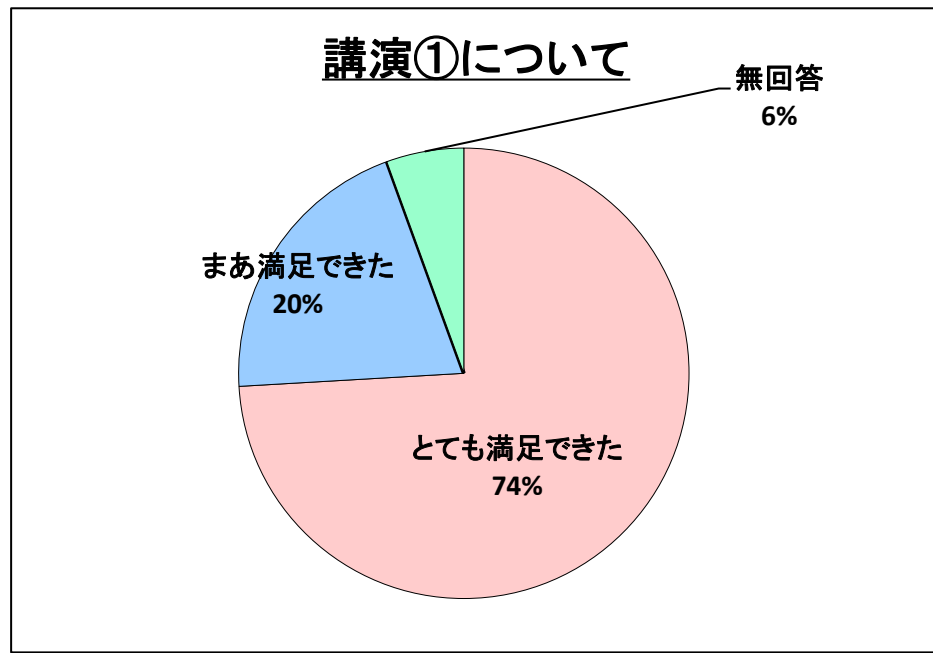
勤務先、会社のスタッフから、県からチラシをいただいた、友人からの誘い



3、本日の講演① 内容について
「隣がんについて」

とても満足できた	40
まあ満足できた	11
あまり満足できなかった	0
まったく満足できなかった	0
無回答	3

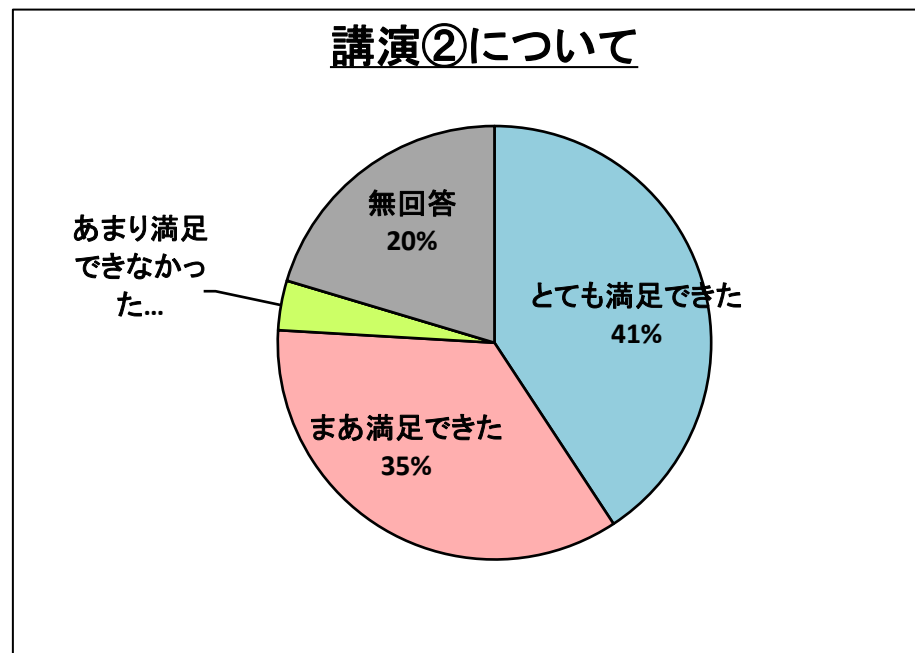
- ・足立先生のような優秀な方が長崎にいらっしゃると知り、心強く思えた
- ・全体の概要を理解できた。スライドのコピー配付がよかった
- ・隣臓がんの実態について理解できた
- ・先生方がどのような考えをもって治療方針を組んでいらっしゃるのかわることができてよかったです
- ・肝胆膵の部分絡関係がよくわかった。外科手術の部分が理解できた
- ・2019年に隣がんが見つかり、フォルフイリノクス治療を受けています。隣尾部がんで比較的楽？ながんなのかも。長く治療が続けば生きる可能性も高くなりそう。そう思って頑張っています。
- ・手術についてがわかりやすかった。患者に寄り添うような話し方でとても安心感を覚えた
- ・両先生とも説明がわかりやすく勉強になりました。ダ・ヴィンチの手術映像には大変興味を持ってました。



4、本日の講演② 内容について
「就労支援について」

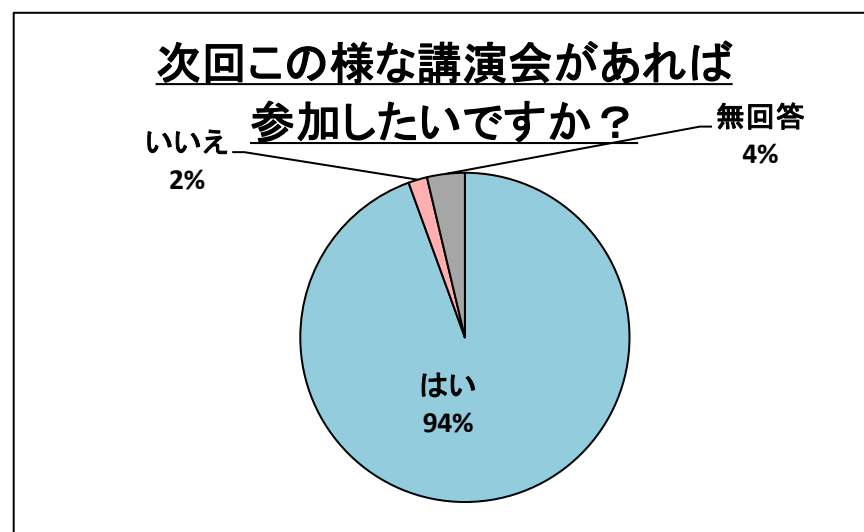
とても満足できた	22
まあ満足できた	19
あまり満足できなかった	2
まったく満足できなかった	0
無回答	11

- ・ハロワーク長崎で相談可がよかった
- ・長崎大学のがん相談支援室の役割について理解できた
- ・とてもわかりやすくて頼りになる支援を受けられるようでありがたいと思いました
- ・ハロワークについて、辞め時があること(など)がわかった。仕事を辞める前に相談するといいいこともわかった。がんと就労について考える時間となりよかった
- ・私のがんとわかったとき、あと半年で定年退職だった。傷病手当金ももらえそう。長く生きられそうにないので、お金の困りそうにない、ということがあり、傷病手当金がなくなるまで、出勤はしないけど会社にいました。
- ・離島の人はどこに相談したらいいのか。各ハロワークということですが、やはりその病院や町役場にお任せなのかなと思いました。
- ・就労支援は本人にとってよい制度と思うが、各勤務先の患者に対する考え方の格差が大きく影響していると思う。公務員ほど恵まれ、民間ほど厳しいと感じる(自身も公務員)
- ・がん診療センターの存在は知っていたが、センターとハロワークが連携し、ハロワークに就職支援ナビゲーターがいることは初めて知り、勉強になりました。
- ・眠たかった
- ・家族ががん治療および自宅療養で、本人はがん患者の介護をしている場合の失業の支援はハロワークでは取扱いをしていますか？



5、次回このような講演会があれば参加したいですか？

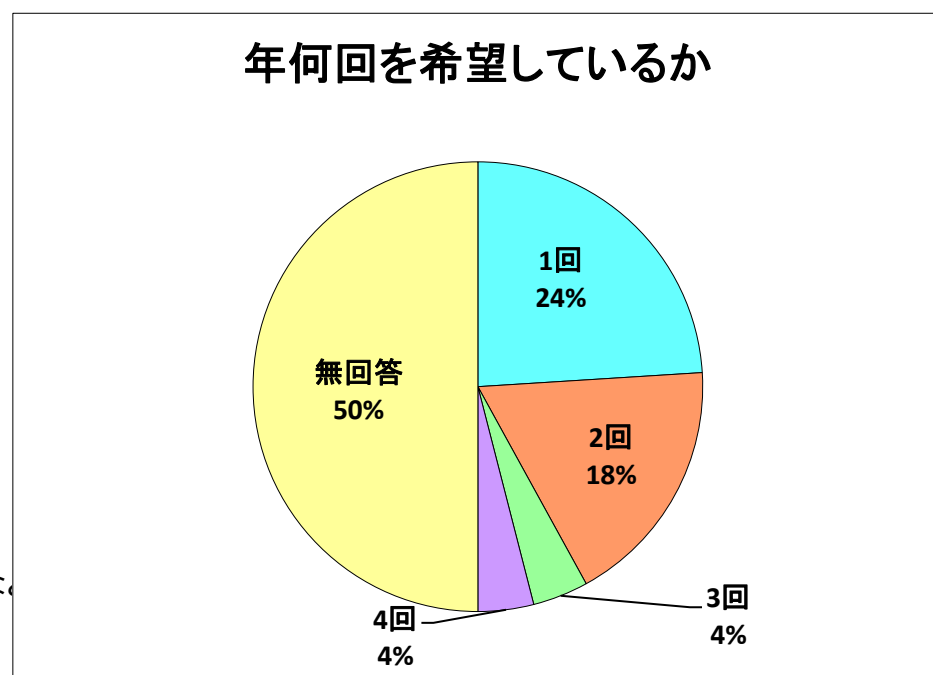
はい	51
いいえ	1
無回答	2



6、またどのような講演を望みますか

年に何回を希望されているか。

1回	12
2回	9
3回	2
4回	2
無回答	25



【今後望む講演会の内容】

- ・アピアランスケアやそれについて支援する方法とか(お手伝い、ボランティアなど)
- ・家族としての寄り添い方など
- ・女性のがんについて
- ・種類の違うがんについて
- ・ほかのがんの状況(概要)があるといい
- ・緩和ケアの関わり方、血液のがんについて
- ・大腸、胃がんについて
- ・生活習慣病とがんについて
- ・ほかのがんについて
- ・メンタル不調者への対応・治療
- ・ほかのがんに関しても知りたいです
- ・がん治療を受けられた、患者さんの講演
- ・陽子線、重粒子線治療センターとの連携
- ・ゲノム検査、免疫療法がなかなか進まない様子。そのあたりのお話を聞きたい。時間を守っていただきたい。
- ・難病なども講演できればいいと思います。
- ・治療とお金の話。お金がないとして放射線治療を断念しようとしている人がいます。高額療養費(実際にかかる金額も含めて)説明しましたが、治療を受けてくれません。どうやったら治療してくれるのかわかりません。今後のADLのため、生活のためにも、治療したほうがいいのですが…。たぶんお金のことではないのかなと思っています。
- ・がん体験者の話が聞きたい
- ・前立腺がん、舌がん
- ・緩和ケアの現状等について、がんの関知が困難である以上、共存できる道の考え方など
- ・病気にならない健康法
- ・大腸がんについて、遺伝について
- ・新しい治療方法とかをどんどん紹介してほしい
- ・がん末期の緩和ケア、看取りのことなど

7.ご意見・ご感想

- ・親族が膵臓がんを患い亡くなりました。なかなか症状が出にくいと聞き、ぜひ講演を聞かせていただきたいと思いました。自分自身も乳癌経験者であり、ほかのがんについても知ることができてよかったです。就労支援については現在悩んでいることもあり、詳しく説明いただき、今後よく考えていきたいと改めて感じました。
- ・「仕事を辞めないで！」の精神がよかった
- ・先進医療(鳥栖ハイマットなど)について、長崎ではあまり推進していないようです
- ・ダ・ヴィンチの動画を見させていただきましたが、こういった映像を見る機会は多くないので、今後もこういった紹介の動画をいれてもらえるとうれしい
- ・予定時刻(14:40)をもう少し意識して口座を進めていただけたらと思います。大切な内容と思いますが、患者さんにはきついと思います。
- ・現在まで健康で病気せず38年間働き続けてきましたが、もし今後自分が働けず病気になったらと思うと、非常に不安でしたがハロワークの詳細な就職支援を知り、とても安心いたしました
- ・化学療法などの知識がない私でもものすごく理解できました。また開催されたら行きたいです。
- ・友人の誘いを受けて参加させていただきました。県外の医療機関で薬剤師として働いていますが、大変勉強になりました。このような機会があればまた参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・膵臓がん闘う方が自分らしく生活できますようにとお祈りしています
- ・講演内容はどれもわかりやすかった
- ・自分がかかっている病気の講演がありがたいです。それに限らず、一般のがんの話でもありがたい。
- ・いつも参加して感じますが、人数が少ない。もっとPRして参加者を増やしたら、がん検診の重要性を認識できる人も増えるのではないのでしょうか？
- ・都道府県より、がん患者の数に違いが出ることの解析データ等の照会など
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・終了時間は守ったほうがいいと感じました。次の予定がある方もいらっしゃるのでも…。講演はとてもよい気づきを得られました。がんは誰でもかかる病気なので、周囲でがんにかかった方がいれば何か手助けできるようになりたいです。
- ・本人は膵臓がんですが、緩和ケアと言われて「緩和」といわれたらもう病気は治らないのか？思った。今回講演を聴いて、通常いわれている治療をしないで死ぬための心の安定をするためと思ったが、違いがあることで安心した。
- ・希少がんについての取り組み
- ・がん患者(治療中)の方のお話を聞きたい
- ・参考になりました。ありがとうございました。